

事業継続計画

(BCP)

株式会社 近藤工務店

令和4年2月25日作成 (第1版)

事業継続計画の趣旨・基本方針

| | | |
|-----|--|-----|
| 1 | BCP策定・運用の目的 | 1 |
| 2 | 緊急時に事業継続を図る上での要点 | 1 |
| 3 | 緊急時に事業継続対応に関するの基本方針 | 1 |
| A | 事業業務の選定と目標時間の把握 | |
| A-1 | 受ける被害の想定 | 3 |
| A-2 | 重要業務の選定 | 14 |
| A-3 | 目標時間の設定 | 39 |
| B | 災害時の対応体制 | |
| B-1 | 社員及び家族の安否確認方法 | 55 |
| B-2 | 災害時の対応体制 | 58 |
| B-3 | 災害対策本部の代理者及び代理順 | 58 |
| C | 対応拠点の確保 | |
| C-1 | 対応拠点 代替連絡拠点の確保 | 76 |
| C-2 | 対応の発動基準 | 80 |
| D | 情報発信・情報共有 | |
| D-1 | 発災直後に連絡を取ることが重要な国、県、市町村 等との相互連絡先の確認 | 82 |
| E | 人員と資機材の調達 | |
| E-1 | 自社で確保している人員と資機材の認識 | 87 |
| E-2 | 協力会社との緊急時の連絡先、連絡手段の相互確認 | 89 |
| F | 事業継続計画の改善計画 | |
| F-1 | 課題の改善計画 | 96 |
| F-2 | 訓練計画 | 97 |
| F-3 | 事業継続計画の見直し計画 | 100 |
| G | 事業継続計画の改善の実施状況 | |
| G-2 | 訓練の実施 | 105 |

事業継続計画の趣旨・基本方針

当社において事業継続計画(以下、BCP)を策定・運用する目的とともに、当社の特性を踏まえ、緊急時に事業継続を図る上で要点となり得る事項は以下の通りである。

1. BCP策定・運用の目的

当社は、上下水道施設工事などの土木工事業を主な事業活動とし、これら公共インフラの整備は社会的な基盤として重要な事項である。これらの活動について当社の果たす役割は極めて高く、災害時においては、これらの復旧・復興が最優先課題となる。

当社においてもこれらの復旧・復興の基盤づくりの担い手として、重要性が高い事業である。

従業員にとっても、当社の経営を健全に保つことは、従業員の雇用を守る上で重要である。また災害時の従業員の安全の確保に関しても、本BCPの中で合わせて検討することにより、従業員への安全と安心を提供する必要性が高い。

2. 緊急時に事業継続を図る上での要点

大規模災害時においては、災害直後から復旧・復興の過程で土木建設業は業界全体として業務が増大することが予見され、速やかに事業を継続することは、これら地域貢献として重要な役目を果たすことになる。

災害時には、通常業務と異なる新たに発生する優先業務への対応が必要になる。そのためには、短期間で業務復旧を目指す必要があり、事前の対策が必要である。

まずは、従業員の安全安否確認、出社可否の有無や連絡が取れない場合の対応、主要機材の点検など迅速に行う必要がある。

また、関連企業などとの人的、物的な助け合いを行うことで、事業の速やかな復旧を目指すことになる。

3. 緊急時の事業継続対応に関する基本方針

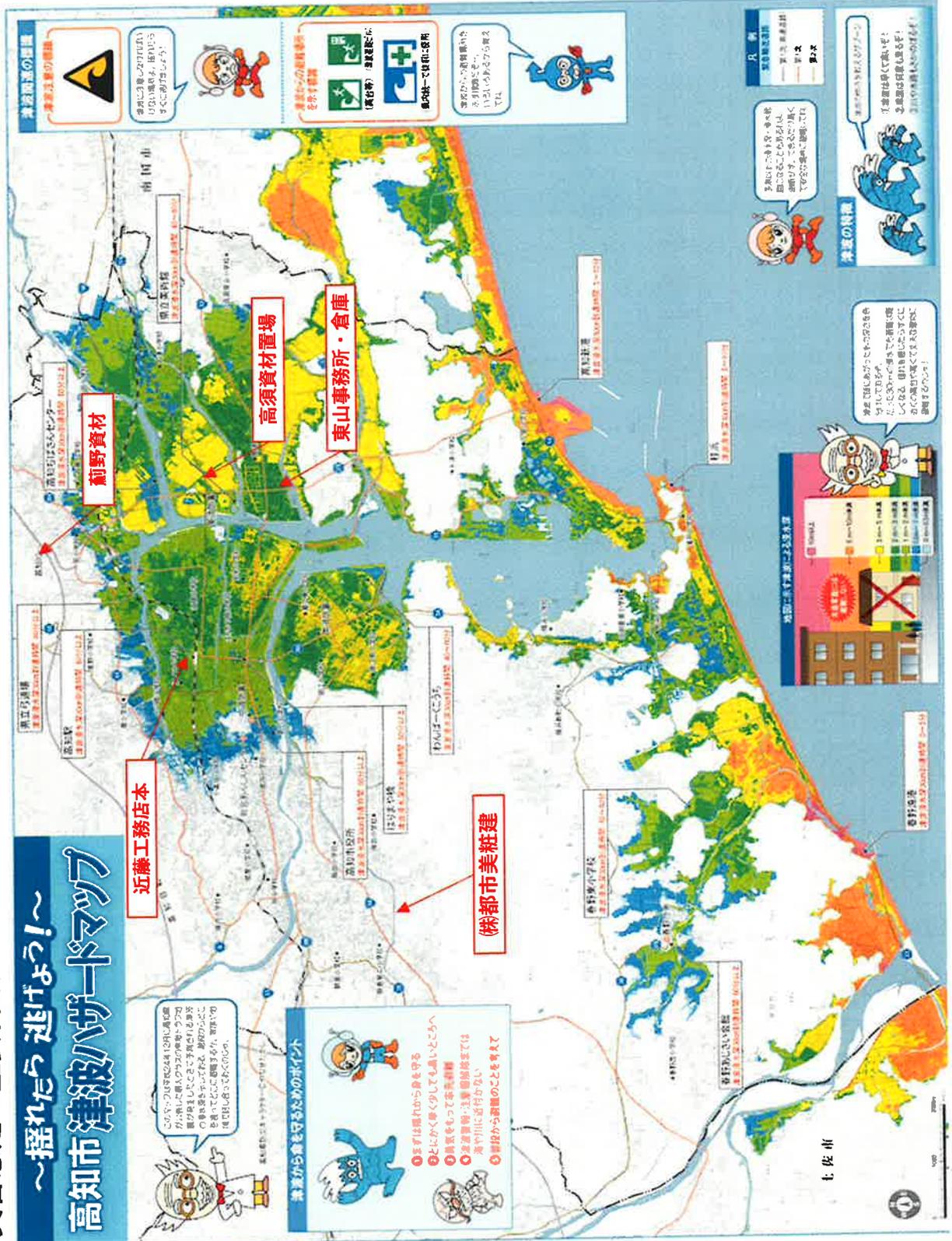
最優先課題は、社員(役員、職員、作業員など)の人命を守ることである。次に、公共インフラの復旧が当社の社会的役割として、優先課題であり、これらの活動に貢献する責務がある。

現在進行中の工事については、関係各所と相談の上随時再開できるように、人員や機材の確保等、できるだけ早急に業務復旧を目指す。

また、必要に応じて、国や県、市などで実施される各種公的支援制度を確認し、活用することとする。

災害想定の重要書類

～揺れたら逃げよう！～ 高知市津波ハザードマップ



| |
|--------------|
| 高知市防災マップ |
| 本社 |
| 高知市和泉町 |
| (株)近藤工務店 |
| 最大浸水深 2～3m |
| 標高 1.5m |
| 津波到達時間60分以上 |
| 代替拠点 |
| (株)都市美粧建設 |
| 高知市神田 |
| 最大浸水深 0m |
| 標高14.7m |
| 東山事務所・倉庫 |
| 高知市高須新町 |
| 最大浸水深 2～3m |
| 標高 0.9m |
| 荻野資材置場 |
| 高知市荻野 |
| 最大浸水深 0m |
| 標高 36.4m |
| 高須資材置場 |
| 高知市高須 |
| 最大浸水深 0.3～1m |
| 標高 1.2m |

河川・海岸施設の被害情報の収集と情報共有

[河川]

| 番号 | 河川名 | 区 間 | 対応業者名 | 電話 | FAX |
|------------|------------|-----------------|-----------------|---------------------|---------------------|
| 1-1 | 鏡川 | 鏡川橋から下流・左岸 | 福留開発(株) | 088-883-7251 | 088-883-7295 |
| 1-2 | | 鏡川橋から下流・右岸 | 新進建設(株) | 088-882-7166 | 088-882-5157 |
| 1-3 | | 鏡川橋から宗安寺橋 | ミタニ建設工業(株) | 088-844-2111 | 088-844-2660 |
| 1-4 | | 旧鏡村分 | 尾崎建設(株) | 088-872-6392 | 088-822-7347 |
| 1-5 | | 旧土佐山村分 | 大宮建設(株) | 088-873-3701 | 088-824-6283 |
| 2-1 | 神田川 | 船岡橋から下流 | (有)希秀 | 088-842-1773 | 088-842-1205 |
| 2-2 | | 船岡橋から上流 | ミタニ建設工業(株) | 088-844-2111 | 088-844-2660 |
| 3-1 | 吉野川 | 吉野川橋から下流 | 道路資材(株) | 088-832-7810 | 088-832-7809 |
| 3-2 | | 吉野川橋から上流 | (有)希秀 | 088-842-1773 | 088-842-1205 |
| 4-1 | 国分川 | 新国分川橋から国分川橋梁 | (株)技研施工 | 088-803-1192 | 088-803-1212 |
| 4-2 | | 国分川橋梁から上流 | 高陽開発(有) | 088-846-1116 | 088-846-0518 |
| 5-1 | 舟入川 | 岩崎橋から下流 | 山下産業(株) | 088-861-6473 | 088-861-0157 |
| 5-2 | | 岩崎橋から上流 | (株)富士建設工業 | 088-860-0384 | 088-860-4282 |
| 6-1 | 久万川 | 愛宕大橋から下流 | (株)近藤工務店 | 088-872-5752 | 088-872-5754 |
| 6-2 | | 愛宕大橋から上流 | (有)大建 | 088-875-5711 | 088-875-5712 |
| 7 | 久安川 | 全区間 | 北陵工業(株) | 088-846-5678 | 088-846-5677 |
| 8-1 | 紅水川 | 石神橋から下流 | 尾崎建設(株) | 088-872-6392 | 088-822-7347 |
| 8-2 | | 石神橋から上流 | (株)大藤 | 088-843-6141 | 088-840-8447 |
| 9-1 | 下田川 | 地蔵橋から下流 | 入交道路施設(株) | 088-847-3691 | 088-847-5580 |
| 9-2 | | 地蔵橋から上流 | 泉建設工業(株) | 088-885-4080 | 088-885-4085 |
| 10-1 | 介良川 | 白水橋から下流 | (有)大寿建設 | 088-860-0906 | 088-860-2230 |
| 10-2 | | 白水橋から上流 | (有)横山建設 | 088-860-0171 | 088-860-2833 |
| 11-1 | 新川川 | 新川川橋から下流 | 啓大建設(有) | 088-842-8123 | 088-842-8132 |
| 11-2 | | 新川川橋から上流 | 久保建設(株) | 088-842-7722 | 088-841-6750 |

G 事業継続計画の改善の実施

G-2 訓練の実施

訓練個別実施記録

令和3年11月1日作成

| 項 目 | 内 容 |
|--------|---|
| 訓練名称 | 災害対策本部立上げ訓練 |
| 実施日時 | 令和3年11月1日(月) |
| 実施場所 | 近藤工務店本社 |
| 訓練実施状況 |  <p>The training exercise consists of three sequential photographs showing a group of five men in a meeting room. They are seated around a table, focused on reviewing documents and charts. The room has several whiteboards with various diagrams and text on the walls. The participants are dressed in business casual attire, and all are wearing face masks. The photos capture different angles of the group as they work together on the training materials.</p> |

報 告 第 1 報

役員各位

災害対策本部事務局です

**AM 10 時 00 分に 土佐湾沖 を震源とする
地震が発生しました**

**最大震度はM 7 .0等で、震度 6 強 を観測し
津波 警報 が発表されています**

**当社および関係先の被害状況を確認するため、
対策本部を立ち上げたいと考えており、
情報収集を行っています
次回の報告は 1 時間後を予定しております**

報 告 第 2 報

【地震】 11 月 20 日 AM 10 時 00 分 発生

震 源 : 土佐湾沖 M : 7.0

震度 7 :

震度 6 強 : 高知市、南国市

震度 6 弱 : 香美市、土佐市

警 報 : 津波警報

【安否情報】

安否不明者

安否確認者

/22人中

軽傷者

重傷者

【拠点情報】

本 社

山田営業所

池田邸

高須土場

薊野土場

山田土場

【地域での被害】

【ライフライン】

電 気
ガ ス

水 道
通 信 網

【交通機関】

道 路
電 車
バ ス

【その他】